

(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟等 整備説明会 主な発言

日時	2023年5月21日(日) 14:00~16:15		
場所	町田市立 国際版画美術館 講堂		
町田市	文化振興課	8名	
出席者	国際版画美術館	2名	
	公園緑地課	4名	
	営繕課	2名	
参加者	38名		

参加者	<p>情報の共有ということで、最初に申し上げたい。(※(仮称)国際工芸美術館の)入札関係ですが、今月の17日が開札の期限だったが、市の方で取り下げられた。舌の根も乾かぬ内に19日に再入札が公告された。18日と21日に入札者が決まったところで説明会を行いたかったのだと思う。6月16日が開札期日となっている。通常だとなんらかの条件変更があるが、金額に関してはそのまま、付帯工事は町田市の業者に限定するということがあったが、これを外し、付帯工事についても全国の業者が参加できるようになった。これについては、自治体におけるコンプライアンスにおいて自治体はコンプライアンスが厳しい状態にある。憲法を遵守し、市民の福祉に寄与する。というのが、自治体に課せられたコンプライアンス。今回住民の大きな反対があること、町田市の多くの業者が住民のために手を引いたコンプライアンス上自治体としてはあってはならない状況だと思う。</p>
町田市	<p>入札に関しては再度条件を変えて行っているが、これは法的に問題があるといったものではない。法令に遵守して行っているものである。</p>
参加者	<p>法的に問題があるとは言っていない。</p>
参加者	<p>今質問された方が、大きな反対があったということだが、どういう反対があったか、教えていただきたい。</p>
町田市	<p>2021年3月に開催した説明会の際、(仮称)国際工芸美術館の進捗状況について周知が不足しているのではないかと、建設場所について、斜面地に計画しているが、場所を変えて樹木を伐採しないようにできないかという意見をいただいているところである。また、もみじ園の部分に中心市街地側からデッキスロープを設置し、橋を渡っていけるような計画もあった。こちらの整備についても自然を大事にできないかというお声をいただいているところである。その後設計を1年ほど中断し、もみじ園のデッキスロープについては中止をし、また公園内の高低差を解消するエレベーターについても、当初は版画美術館と工芸美術館をつなぐエレベーターを来園者の方にもご利用いただくような計画であったが、美術館を通ることなどに対してご意見をい</p>

	<p>ただいたところであるので、今回ご説明している公園内の別の場所にエレベーターを計画しているものである。</p>
参加者	<p>反対運動をしているのは私であるので、私から申し上げたい。</p>
別の参加者	<p>市が行う事業について、市民に対して、了解の取り方とかルールがあるかわからないが、できればなるべくみんなが合意できるやり方がよい。ただ、100%全員が合意はできないし、致命的なことがなければいいと思う。その辺の事情が知りたい。</p>
参加者	<p>一例として、私がアンケートを取ったところ、98名のうち97名が現在の建設予定地に（仮称）国際工芸美術館を建設することに反対という意見だった。</p>
参加者	<p>芹ヶ谷公園とその周辺地域を考える会と近隣住民有志の会に入っている。（仮称）国際工芸美術館をここに整備するというのを私たちが知るのが遅かった。ホームページに出ているとかあるかもしれないが、知らなかった。以前の計画から現在の計画に変わったのがわからなかったのが原因の一つである。私はがけ地から平地でということ掲げて活動している。別の良い場所に経費も掛からずできるものだと思っている。平地に建てれば安い。（仮称）公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟についても、版画工房を壊してやるものなのか。工房を残せばそのままいい。アート・出会いの広場は町田荘跡地に作ればよい。現在の計画は、木も土も削る。市からの回答は、同じで2年間平行線である。話し合いにならない。反対運動に受け取られるが、反対運動じゃなくて、より良い公園にしたい。</p>
町田市	<p>2021年3月の説明会、2021年5月の現場での説明会を行い、その後（仮称）国際工芸美術館の設計を一度止めて、もみじ園のデッキスロープ、公園内のエレベーターの計画を変更しているところである。（仮称）国際工芸美術館の建設地について、色んなご意見をいただくところであるが、なぜここなのかというところをご説明すると、版画美術館手前には、大きく育った緑があり、このせせらぎの空間を大事なものと捉えている。今日も多くのご家族連れが遊んでいるが、この空間を残しながら行うには、どうしたらいいかと検討したなかで、斜面地に整備することで、せせらぎの部分を残しながら、版画美術館手前の緑も残すことができ、向かいの住宅と建物間に大きな木も残すことができる。そうすることで、見られてしまうという視線の問題も防ぐことができるという点で、現在の場所に建設を予定している。</p>
参加者	<p>なぜ、最初から（仮称）国際工芸美術館を町田荘跡地に予定しなかったのか。また、エレベーターを作るのをなぜこだわっているのか。（仮称）国際工芸美術館、版画美術館、町田荘跡地の3ヶ所の大工事をするという話を聞いていた。最初から町田荘跡地に（仮称）国際工芸美術館を建設すればよかった。最初町田荘跡地も候補だったが、取り上げられなかった。</p>

	<p>エレベーターについては、2015年頃の（仮称）国際工芸美術館の計画ではせせらぎのあたりに予定をしていた。その際、高低差の解消が一番のテーマだった。今回もう一台エレベーターを作るとのことだが、（仮称）国際工芸美術館をがけ地に作る必要はないのではないかと。2台もエレベーターを作ることが必要なのか。工芸館の是非を含めて、再度検討してもらいたい。</p>
町田市	<p>2015年当時（仮称）町田市立国際工芸美術館基本計画において、建設候補地を検討をしている。学識経験者、市民の方、いろいろな方々の意見を聞きながら作っているものであるが、建設候補地については、国際版画美術館の北側にすると定めている。理由としては、駅からのアクセス、中心市街地との回遊性、そういったところから定めている。</p> <p>その後、当時基本設計を進めたところではありますが、2018年には、議会において、課題を色々指摘されたなかで、2019年以降現在の場所で計画を進めているところである。</p> <p>エレベーターについて、当初両美術館をつなぐエレベーターを地域の方も利用できるバリアフリールートとして予定していた。国際版画美術館のアート・出会いの広場を通り、1階部分から、（仮称）国際工芸美術館の屋上まで行ける形となる。だが、自転車の利用ができない点などご指摘を受け、自転車も乗れるエレベーターにしてほしいと地域の方々からご要望を受け、噴水彫刻のあたりに計画をしている。</p>
参加者	2台ある必要があるのか。
町田市	<p>両美術館をつなぐエレベーターについては、両美術館を楽しんでいただくエレベーターとして整備を予定している。現在の国際版画美術館2階の展示室から、3階部分に上がっていただいたところに（仮称）国際工芸美術館の展示室を予定しており、連続してそれぞれ楽しんでいただけるよう計画をしているものである。</p>
参加者	エレベーターは便利だが、傾斜地に全部に作らないといけなくなってしまう。住民が良くなるだけというのは住民エゴなのではないかと思う。
別の参加者	議論がずれているが、両美術館をつなぐエレベーターを新設すると理解してるが、計画として残っているのか。元々、版画美術館にエレベーターはあるが、それを利用するだけなのか、新たに（仮称）国際工芸美術館用にエレベーターを作り、公園内に別のバリアフリールート用のエレベーターを作るといったことなのか。
町田市	新たに両美術館をつなぐエレベーターを水庭部分に整備し、1,2階は版画美術館、3階は（仮称）国際工芸美術館の展示室、4階部分は屋上として計画している。
参加者	町田荘跡地が複雑な地形であるが、地形にあった建物を作ってほしい。最近せりがや会館が取り壊されると聞いたが、そこを壊すのであればそこに

	<p>(仮称) 国際工芸美術館を建てればよい。これだけの大工事を行うことはない。</p>
町田市	<p>地形にあったというところで、(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟は、後ろの斜面の安全対策をして、できるだけならかにしながら、できるだけ敷地の状況にあった計画をしているところである。</p> <p>なぜこの建設地については、版画美術館との連携、芹ヶ谷公園と中心市街地との回遊性を踏まえ、現在の建設地に計画している。</p>
参加者	<p>(仮称) 国際工芸美術館の工事の際、道を大きなダンプカーが通った時、歩行者が怪我をすることがある。自転車が通れないことがあって不便である。</p>
町田市	<p>工事については、通学の時間帯に工事車両ができるだけ通らないようにしたり、交通誘導員を配置し、歩行者の安全に配慮する。安全対策については、施工者としてしっかりと協議を行い、またみなさまには工事説明会という形で、こういった工事を行い、安全対策をすることが説明をしていく。町田市はこれまで、子供達の通りが多い場所で工事を行わないといけなかった場合は、しっかり対策を行い、大きな事故無く行ってきており、今までの経験も踏まえながら、安全対策をしっかり行っていきたい。</p>
参加者	<p>ここが一番大事なものは自然。自然を壊して、箱物を増やすべきではない。自然はそのままにして人の手を一切加えず、現在の芹ヶ谷公園のままだがよい。(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟を町田荘跡地の自然を壊して擁壁を建てることも問題。何より大事なものは自然を壊さないことである。</p>
町田市	<p>今回建物機能として、ガラスや陶磁器の体験機能、版画工房の機能を有するなかで、それぞれ活動されている方がそれぞれの活動が見えることで、相乗効果もあるが、子供たち含めて、専門的な設備を使用しなくてもガラス、陶磁器、版画、の体験ができないかを民間事業者含めて計画しているところである。体験というものが一つの建物でできることで、色んなものに興味をもってもらえるきっかけづくりにできないかと考えているものである。</p>
町田市	<p>緑が大切ということであるが、市街地のなかの公園として、人が活躍する場としての活用と緑の保全する点ということを両立していきたいと考えている。湧水ですとか、斜面地の緑を全て切ってしまうとは考えていない。必要最小限度の施設を導入することと、建物以外のところは捕植を行って対応をしていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>緑を保全するというのは手がかかる。そういうことにお金を使ってほしい。箱物はもういらぬ。人口が減っている。人が寄らなくなった時に解体にもお金がかかる。この整備計画は最初博物館を閉鎖して、こちらに移管してというのがそもそもだったと思う。未だに縄文時代の住居跡が残っている。博物館の</p>

	建物についても大事にしなければならない。博物館がどれだけ大事な収蔵品があるか知らないが、建物を大事にしてほしいという住民の意見がある。町田市は派手なことをやれば良いと思っている。今あるものの文化的な考えが不足している。版画美術館も大事にしてほしい。緑も一度壊したら元通りにならない。
町田市	緑の管理が不十分だという声もいただいている。市街地にある公園として相応しい二次林の管理の仕方が今までできていなかった部分もあるが、芹ヶ谷公園2017年度以降予算を確保し、適正な管理ができるように事業を行っている。これからご指摘の形にならないようにしていきたいと考えている。
参加者	最初に大きな反対運動があるということで気になったが、今の市の回答、対応をみて、心配するような状況ではないと思い、安心した。別の質問で町田駅から芹ヶ谷公園の方まで、道路を延長するというパンフレットを以前もらったが現状はどうか。
町田市	原町田大通りの延伸について、道路を芹ヶ谷公園の中心を通っていく計画があるが、その計画を含めて芹ヶ谷公園を魅力的なものにしたいと考えている。
参加者	全体計画の中にはないか。
町田市	駅前的大通りについては、都市計画道路という道路であるが、芹ヶ谷公園の中心を通り、先に延伸する都市計画決定というものが現在されている。今後、町田街道から芹ヶ谷公園の方まで2017年～2027年の事業期間として作業を進めているところである。今年度から地権者の方含めて説明会を行うということを担当部署より聞いている。芹ヶ谷公園の基本計画策定の際には、延伸も視野に入れたうえで計画を策定しており、担当部署と調整しているところである。
参加者	道路の延伸の主旨は芹ヶ谷公園へのアクセス改善が主旨ということか。
町田市	道路の予定線としては芹ヶ谷公園を過ぎたところまで延伸予定であり、事業期間等は未定であるが、別の都市計画道路が整備された際には、そことつながるような計画となっている。
参加者	あともう一つ、国際版画美術館や（仮称）国際工芸美術館の国際にはどのような意味があるか。
町田市	国際版画美術館は、版画を主に取り扱っているが、日本の版画は世界的に有名で、特に浮世絵などは認知されており、国際という名前をつけたものである。
参加者	版画美術館はだいぶ前にできたわけだが、あまり有名ではないと思う。有名にしたいという町田市の意思はあるのか。町田市の人知っていると思うが、市外の人には誰も知らない。
町田市	企画展をする際には、他の美術館の作品を借りることがあるが、版画美術館というところで、信用頂いて借りてきているところである。認知の程度は

	人によって違うところもあるかと思うが、今後も良い企画展を行ったり、PRをすることで、より認知されるようになっていきたいと考えている。
参加者	町田市民ではないが町田には30年以上かかわりがある。博物館の郷土の情報、地域を知る場所、伝えていく場所は無くなるのか。
町田市	郷土資料については、既に生涯学習部に移管をし、考古資料室、三輪の森ビジターセンターで保管や展示を行っている。バーチャルミュージアムのような取り組みもある。郷土資料の展示については、(仮称)国際工芸美術館の展示室を含めて様々な場所で行っていく計画である。
参加者	<p>町田市の歴史というのをここにいけばわかるという場所が必要かと思う。そういった場所で、ボランティアを育成したり、町田市ならではの歴史を伝えながら、新しい文化を作っていく町田という名前を冠したミュージアムを作るよう将来検討していただけたらと思う。</p> <p>町田市は緑が多いが、人と自然のかかわりがある緑で、歴史がある地域である。人口減少のなかで選ばれる町として、市民みんなで盛り上げていく必要がある。目新しいものより、地域の資源を活かし、箱物も大事であるが、その活かし方が大事かと思う。</p>
参加者	工芸美術館の収蔵品について大体わかっているつもりである。これからどういった収蔵品を収集していくのか。計画があるのか。
町田市	計画として、確定しているものではないが、現在はガラスと陶磁器4300点ほど収蔵している。陶磁器について、西洋などのものを収集していきたいと思うが、博物館の収集委員含めて現在調整を行っているところである。ガラスについても、ボヘミアングラス、ヨーロッパ、中国の作品等、世界的に見ても貴重なものを収蔵している。今後、日本の作品についても収集し、差別化も検討している。今後、収集委員と協議を行い進めていきたいと考えている。
参加者	コンパクトな工芸美術館というのを説明してほしい。
町田市	(仮称)国際工芸美術館の執務スペースについては、国際版画美術館の執務室の利用を想定している。工房機能も、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の中に考えている。美術館のコアとなる機能、展示室や収蔵庫を中心として、その他の建物内の機能と共用することで、(仮称)国際工芸美術館については、コンパクトとしている。
参加者	コンパクトな工芸美術館とは何を指すのか。
町田市	例えば、ミュージアムショップは国際版画美術館内を想定しており、体験機能については、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟内を想定している。執務スペースについても版画美術館の執務室を想定している。美術館のサービス機能は、共用を考えているので、(仮称)国際工芸美術館は展示、収蔵機能これを中心とするためコンパクトと申し上げている。

参加者	新しい収蔵品を入れるのは時間がかかる。今あるものを並べるだけというように思えるがその理解でよいか。
町田市	展覧会については、所蔵品を展示する展覧会もあれば、外部から借りることや新たに寄贈いただいたものを用いて展覧会を行う場合もある。今までの所蔵品だけでも展示の仕方、テーマ、新たな切り口によって様々見せ方があると考えている。
参加者	(仮称) 国際工芸美術館整備は以前から計画されている。中身を考えず、収蔵品の価値を考えず、建物だけが運ばれるようで、残念に思う。
参加者	アート・出会いの広場と(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の違いは。
町田市	(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟は、版画工房、ガラス、陶磁器といった制作の体験ができることを想定している。アート。出会いの広場については、公園に来た方々にアート、芸術、版画、工芸に興味をもっていただき、各美術館に気軽に入ってもらえることを目的に計画している。
参加者	<p>これまでの質問を聞いていて今日の説明会の位置づけについて、疑問がある。基本構想は、大きなビジョンを作り、基本計画は、基本設計の前段として条件を作る。建物の位置の話などは、基本計画の頃に話す話題をしている。基本設計に入る段階では、既に了解されてないといけない。基本設計は大枠の建物の設計。その後実施設計で詳細な設計がされる。</p> <p>今日のいろんな意見を聞いているとビジョン的な話や計画そもそもの話で、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の具体的な質問がなかったように思う。今日は、基本設計の話と思い理解して来たところであるし、資料の内(仮称)国際工芸美術館の話はなかったと思う。市政懇談会では工芸美術館の話はしないという旨の話を聞いている。</p> <p>2022年5月の説明会は、私も参加している。その時に説明をしたという位置づけなのだろうと思う。その際に、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟基本計画について説明を受け、2022年6月から意見募集を行っている。2023年2月に近隣の方や版画工房利用者に基本設計の説明をしている。今回行政の方では、基本設計の内容を説明するよう目論んでいるが、基本設計レベルで意見を聞くには、資料の作り方が不足している。意見については、構想時レベルの意見ばかりである。市民の了解をとっていないものを基本設計まで引っ張ってきている。今回の説明の位置づけはどう考えているのか。基本設計の説明会は今後行うのか。</p>
町田市	本日の説明会については、主に(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の基本設計について説明を行う主旨で開催しているが、パークミュージアムの全体計画、(仮称)国際工芸美術館、まちなかとの連携など、この事業は様々なものが関係しており初めて参加された方もいらっしゃいます

	<p>ので、まず全体像をお話してから、(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の説明をさせていただきよう構成している。</p> <p>(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の基本設計につきましては、別紙3資料で基本設計図面をお出ししており、具体的な配置含めてご提示している。こちらの資料を踏まえてみなさまからご意見をお伺いしたいと考えていた。</p> <p>別紙2資料については、市民みなさまが実際に使うところ、そこについてご意見をお伺いしたいと考え資料を作成している。また、図面だけでは、わかりにくいと考え別紙1資料にはイメージパースを用いている。</p> <p>おっしゃっていただいたように、2022年5月に基本計画案を作成し、その後市民意見募集を行い様々なご意見をお伺いしたところである。</p> <p>版画美術館の展示を見た後の動線や工房のレイアウトとして、版画、陶磁器、ガラスの制作において、同一空間ではなくしてほしいなど意見をいただいたものを基にして基本設計を行っているところである。</p> <p>今年度実施設計進めていくところ。工房利用者含め関係する方々の意見をお聞きしながら進めていきたいと考えている。</p>
参加者	基本設計については説明したという理解でよいか。基本設計について説明会の機会を設けることはないか。
町田市	5月18日、5月21日の説明会での意見を含めて今後実施設計を行う予定である。例えば盛り土部分について植栽を行う予定であるが、近隣自治会の方々からは、こういう植栽がいいのではないかという意見もいただいている。決してもう意見を聞かないというわけではなく、その都度反映できる意見を反映していきたいと考えている。
参加者	市民に対して説明するという手順を踏んでいない。(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟整備において、どれだけ伐採があるか記載がない。説明の形式的手順を踏んだのでそれでよいと思っている。市民に対してガス抜きを行っている。
別の参加者	議会において設計予算は通っているのか。
町田市	承認をいただいている。
別の参加者	この事業について反対であれば、そういう議員を選ばなければいい。事業が進んでいるのだから、そういう話をしていたら話が進まない。
町田市	基本計画策定にあたっては、先ほど申し上げたほか、土砂災害警戒区域の対策をしっかりやってほしい旨や工房については、周りから見えるようにしてほしい旨のご意見をいただいている。そういったご意見を基に、基本設計を進めている。いただいたご意見を無視しているとかではなく、できない部分もあるが、頂いたご意見を反映できるところは反映して、手順を踏んでやっている。基本設計についてご意見をいただきたいところであるが、そもそ

	<p>ものところが多くなってしまふのは、難しいところもあるが、いただいた意見を参考に現在のスケジュールで設計を進めていく。2021年3月には、パークミュージアム全体の計画をお話するなかで、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の整備地や基本構想、2022年5月の説明会では、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の基本計画と順にご説明を行ってきた。</p>
参加者	<p>基本設計の説明会はもう行わないのか。</p>
町田市	<p>例えば同じ内容をまた半年後に行うといったことはないが、設計の内容について、ここをこうしてほしいとかご意見をいただければ反映に努めますし、先ほど申し上げた緑のあり方や、工事ついて心配だという意見もいただいておりますので、そういう意見をしっかりお聞きして、進めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>これっきりでなく、もっと説明会をやってほしい。具体的にいうと、町田荘跡地の土砂災害警戒区域(レッドゾーン)の補強について、私が調べた限りでは入り口からその範囲になっている。擁壁と盛り土を行うところは、その部分をやっていないように思える。全部やるという説明を行ってしまったのか。レッドゾーンを解除するために行うと言っているが、芝好園に上がっていく階段の部分は、そうではないはず。なぜそこも行うのか。また電柱、電線があるが、そこをどうよけていくのか。そういう説明を基本設計のところでやらないと、いけないのではないのか。</p> <p>パークミュージアム整備運営事業が始まっているが、民間事業者に募集をしているところであると思うが、事業者からの質疑の中で、事業計画について反対運動はありませんかという問いに対して、ありませんと書いている。</p> <p>(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟の工房、工芸のワークショップについては、数年後民間事業者が行うと記載がある。アート・出会いの広場についても市は年24回独自事業をやるがそれ以外は、民間事業者が行うと記載されている。公園の利用料金も民間におまかせである。</p> <p>入札についても、地域の活性化のため町田市の地元業者を使いましょうと市長も言っている。その仕組みで入札をしたが、なぜか一社も手が上がらなかった。他の方法がないかもっと調整すべきである。4日後に、再度公告するのは、不信感がある。この質問の回答はいただきたくない。何回でもいいので、基本設計の説明会をおこなってほしい。</p>
町田市	<p>回答はいらないということだが、参加されているみなさま含めて誤解を生じさせないためにお話しさせていただく。</p> <p>現時点で反対運動がないというPFI(パークミュージアム整備運営事業)の質疑回答については、「現時点でかかる反対、訴訟、要望は無いとの認識で宜しいでしょうか。」という質問に対し、「本事業に関連する要望は様々あり、コンセプトブック等にご意見や要望を把握し検討に活かすよ</p>

	<p>う努めています。現時点で本事業（PFI 事業）に関する反対、訴訟はありません。」というように、この計画について反対運動がないということではなく、限定的にありませんとお答えしている。</p>
町田市	<p>町田荘跡地の土砂災害警戒区域の解消については、この敷地全体を東京都と協議を進めており、もちろん区域外の部分についても地形の収まりも考慮し、かえって危険にならないように統一してきちんと整備する予定である。実際、削ったりするしない部分を含めて全体的に土砂災害警戒区域の解消に向けて進めているところである。</p> <p>また、有料施設を民間におまかせとのことだが、条例において有料施設の金額上限というのを条例のなかで制定することになっている。そのなかで、民間事業者が経営判断で、その上限以下の金額に設定したり、平日利用が少ない時間帯は無料にしたり、あるいはその時間帯で自主事業を行うなど、そういった創意工夫をして市民サービスの向上につながるものを評価したいと考えている。</p>